

データに基づく科学的な人材マネジメントに向けて

Asis-Tobe可視化による 人材戦略実践支援

サービスの特徴

#1 経営における人的資本の重要性が増している

①社会環境変化による求める人材像の変化

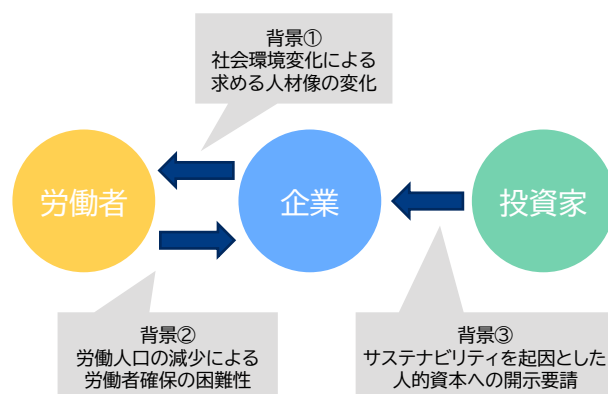
- DX,GX等の社会環境変化の中、中長期を見据えた経営戦略の実現が求められ、それを担う「人的資本」の重要性が高まっている(→従来通りの人材確保・育成では不十分)。

②労働人口の減少による労働者確保の困難性

- 労働人口の減少により、企業の人手不足が顕在化。外部労働市場からの労働者確保の競争が激化する中で、労働者への訴求として人的資本への投資が必要となっている。

③サステナビリティを起因とした人的資本への開示要請

- 機関投資家からのサステナビリティ情報の開示要請が高まっており、特に人的資本情報は、中長期の企業価値向上の可能性判断にあたり重要な情報と認識されている。



#2 企業の抱える人材課題は山積み

- 短期的、中長期的な必要人材確保に対しては、経営や管理部門、また事業部にて、それぞれの課題が存在している。

- 中長期的に経営戦略実現に必要な人材が確保できるのかわからない
- 現状の過不足もよく見えない



経営・企画



IR



人事



事業部

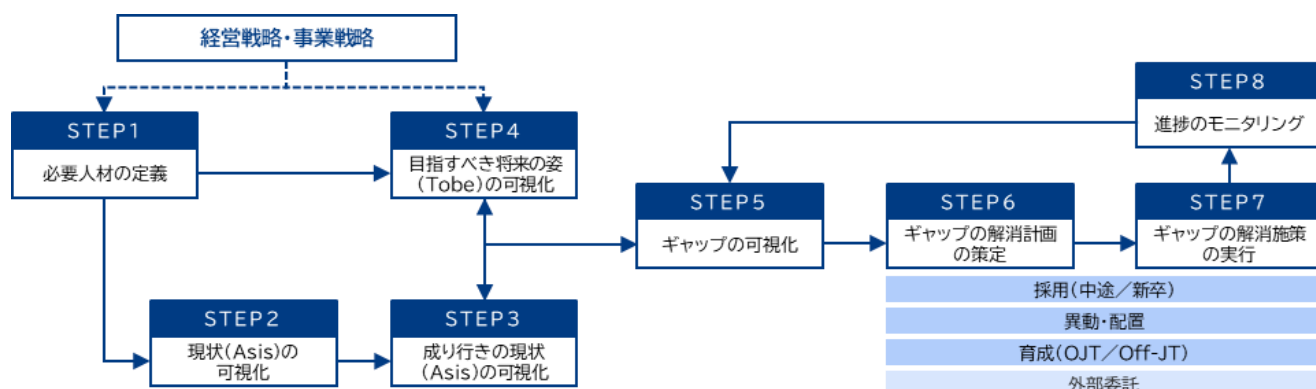
- 人材戦略の進捗を示すデータが無い
- 投資家や労働市場が求める情報がわからない

- 人材が確保できず、採用戦略の見直しが必要
- キャリア見通し・成長実感の無さで離職増

- 事業計画に沿って再配置とリスキリングが必要
- 人手不足だが必要人員を合理的に説明できない

#3 経営戦略実現に向けた人材戦略策定・実践のカギとなるのは Asis-Tobeギャップ可視化

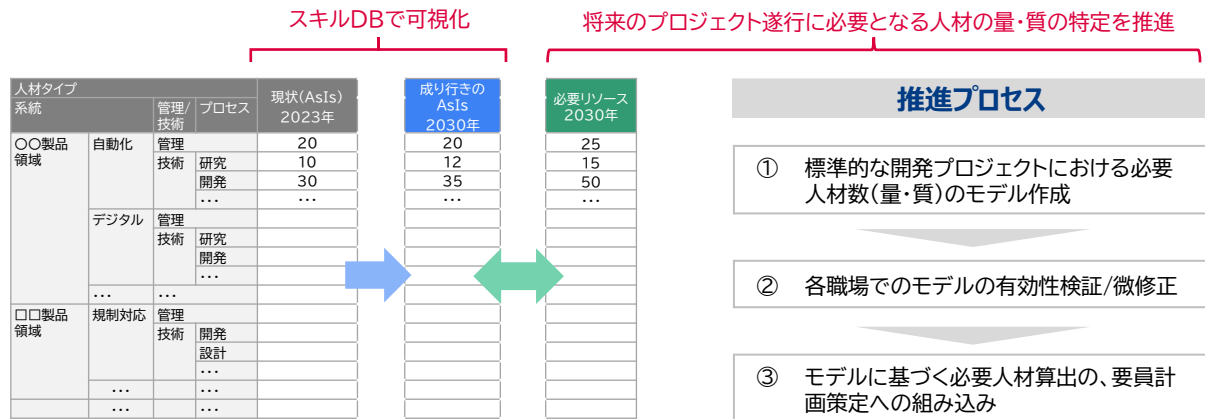
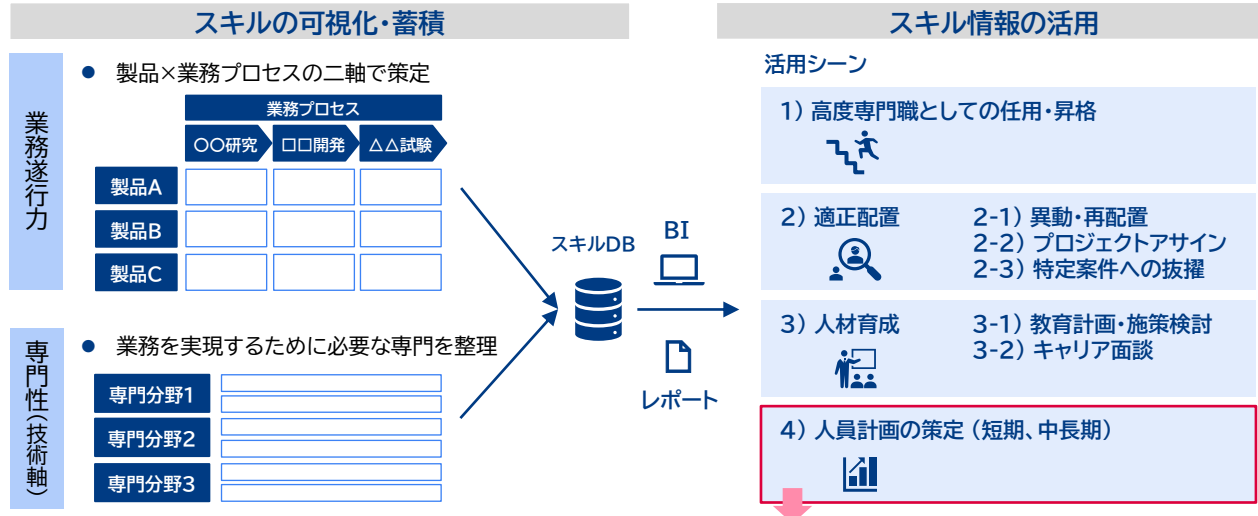
- MRIは、短期・中長期的な人的資本のAsis-Tobeギャップを可視化し、解消策を立案・モニタリングしていくための基盤構築をご支援します。



支援事例

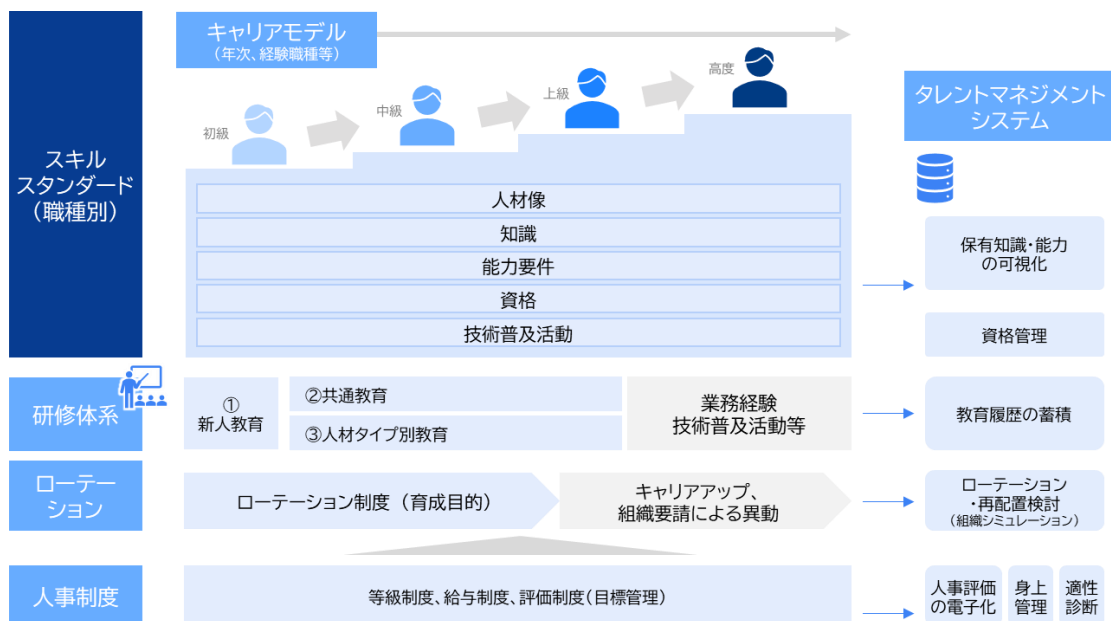
ケース① | スキルの可視化と将来人材需要算出（機械メーカー）

- 設計技術者のスキルを可視化しDB化。事業分野毎の人材のAsisと将来のTobeを算出、ギャップ解消策を策定。



ケース② | スキルスタンダード・人材育成基盤構築（設備保守・エンジニアリング）

- スキルスタンダードを構築し研修体系や人事制度等関連制度と整合させることで人材育成プログラムとして体系化。



本資料に関する
お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

人材・キャリア事業本部
政策・戦略グループ

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

✉ service@ml.mri.co.jp

☎ 03-6858-3493

※無断での複写・複製・転載及び第三者への開示を禁じます。